

厚生労働科学研究費補助金（難治性疾患政策研究事業）

分担研究報告書

中性脂肪蓄積心筋血管症の診療体制の確立・患者探索・予後調査

研究分担者 松本 直也 日本大学医学部内科学系循環器内科学分野教授

研究要旨

中性脂肪蓄積心筋血管症（triglyceride deposit cardiomyovasculopathy ; TGCV）の疾患探索と撮像条件の確認

A. 研究目的

中性脂肪蓄積心筋血管症（TGCV）の適切なスクリーニングを行い、診断に至る段階で重要な I-123 BMIPP の撮像状況を確認すること。

B. 研究方法

日本大学病院循環器内科にて循環器疾患診療が行われた症例を対象とし厚労省研究班が策定した診断基準 2020 を基に、安静時 I-123 BMIPP 検査を実施した症例の撮像条件について検討した。

（倫理面への配慮）

これまでに I-123 BMIPP 検査を行った症例抽出と撮像条件の確認にとどまっているため、個別患者情報にはアクセスしていない。

C. 研究結果

I-123 BMIPP の脂肪酸代謝欠損領域の有無により洗い出し率が影響を受けている症例があることが分かった。

D. 考察

特発性 TGCV が疑われる症例において陳旧性心筋梗塞症の有無の確認と欠損像を見た時にアーチファクトを鑑別する為の方策が必要と考えられた。

E. 結論

脂肪酸代謝欠損領域の判断にはアーチファクトの除外と撮像条件の均一化が必要でありどの程度の欠損領域であれば左室全体の洗い出し率に影響が及ぶのか閾値を求める必要がある。

F. 健康危険情報

該当せず

G. 研究発表

1. 論文発表

なし

2. 学会発表

なし

H. 知的財産権の出願・登録状況（予定を含む）

1. 特許取得  
なし
2. 実用新案登録  
なし
3. その他  
なし